

楽しい仲間たち

川崎少年野球クラブ



取材のために川崎小のグラウンドに入るや練習を中断して全員一斉にこんにちはという元気の良い挨拶で迎えられた。創部20年のクラブを指導する就任5年目の内山淳一監督にお話を伺った。卒業生は135名。昨年福島高校を県大会に進めた原動力、井啓輔君は平成17年の卒部生です。現部員は23名、6年生は5名ですがよくまとまっています。秋の大会迄にはチームを仕上げて

当然優勝を目指します。先輩達はかつて八女市少年野球連盟の大会で優勝した戦績をもっています。指導で力を入れていることは、道具を大事にする。挨拶、返事をしっかりする。仲間同士の思いやりをもつ。ユニホームを着てグラウンドで実行できることは当然ですが、クラブで学んだことを家庭や子ども会、地域の色んな行事で部員が率先して自然にやれるようになってほしいです。そして部員



内山 淳一 監督

としての自覚と誇りを持つてくれれば嬉しいですね。最後に川崎校區の方にお願ひですが4年生以下の大会に出場するメンバーがまだ足りません。スポーツで鍛えた体と精神は社会に出たとき役に立ちます。勇気ある川崎小の生徒の入部を心から歓迎します。

街かど gallery



古賀 清子 (黒木町)

散歩をはじめ、雨あがりの陽の輝き、石についた苔、木の肌、木もれ日のゆらめき、豊かに実った果物、空や雲等、今まで気づかなかった季節の移ろいに気づくようになります。

そう、子供達もそれぞれの道を歩むようになってきたらもつと心豊かな時を過ごせるのではないかと思います。

油絵の道具も使い方も分らぬまま習いはじめ、あつという間に5年が過ぎました。近くの自然もだんだん人工の美に変化しつつあります。私は矢部川の風景、水のある風景が好きです。上手にはなれませんが描いている時は時間も忘れ楽しんでいきます。今後とも絵を描き続けたいと思っています。



又護岸工事がほとんどされていないため山の裾が川に至り、自然のウォーターフロントになっている。唱歌の世界春の小川が昔のままさらさらと流れている。ここは八女が誇る貴重な自然遺産である。あちこちで車を止めるので約10kmの道中がなかなか目的地に着

田代ふるさとづくり ホタルの会
前会長 堤 直樹 さん 現会長 堤 利七郎 さん

かな。清流と山里の自然を営々と守り続けている地元の皆さんのご苦労に感謝し、この清流と皆さんの安穩な暮らしがいつまでも続くことを願ひながら車を走らせた。5月末6月には田代ホタル祭り(5日・12日はイベント)ホタルの見頃は湿度と気温の高い一雨きそうなジメツとした夕暮れ時がいと。マナーを守って静かに見学して下さい。田代川は熊本県境陣床を源流とし途中で神露淵川と合流し栗林で矢部川に注ぐ約10km余りの川である。問い合わせ：堤会長 090-2083-5162

私の行きつけのお店



TVや雑誌で人気沸騰の楽やせ法のお店を紹介します。『YOSA』専用サロンがついに広川町にOPENしました。『美肌、楽やせ、体質改善』が同時にできるYOSAは、専用チェアに座って、天然ハーブのミストを全身の毛穴、粘膜から吸収します。体の芯から温めて老廃物を排出し、体の内側からもキレイにします。冷え、むくみが改善する温熱美容法です。使用する十数種類の厳選されたハーブは、冷え症、肩の凝り、神経痛、腰痛などにも効果大です。なんと60分コースには、チタンリンパマッサージ付！みなさんも体験してみたいはかがでしょうか。

☆只今、店舗展開中の為、オーナー募集中との事です。

ノーマルコース45分 ¥3,800
楽やせ又は体謝upコース60分 .. ¥5,800
セレクトコース60分..... ¥7,800
クラッシーを見た方.....初回 ¥1,000 OFF

OPEN 10:00/CLOSE 22:00 (不定休)

●完全予約制 ●女性専用サロン

YOSA PARK 輪ーりんー

YOSA PARK 輪ーりんー

広川町大字新代1389-141 ジョイフル広川401
(三号線沿い若久園様前) ☆P有☆

☎ 080-1778-3334

ペターホームのBOOK
かしこい家しごと
料理・洗濯・掃除・おつきあいの知恵...。心豊かに暮らすための家事の基本と知恵をまとめました。読むと家事をやる気になる、おしゃれな家事の教科書です。また人には聞けない、でも知っておきたいマナーと工夫が詰まっているので新生活を始めた

自炊本
家に帰って10分で食べられるように考え抜いたレシピ104品。材料を無駄なく使う知恵が満載。



自炊本

便利な計量の仕方(手ばかり、目ばかり)野菜の切り方なども。B5変形判112頁1000円

申し込み先：ペターホーム協会(送料各一冊100円)
☎ 092-714-2411
☎ 092-711-7830



안녕하세요

黒木町あゆみ保育園

「アンニョンハセヨ(こんにちは)」、「イエブオヨ(かわいい)」。5月12日(水)、黒木町のあゆみ保育園に、韓国語が飛び交いました。蔚山科学大学(韓国蔚山市)で保育士を目指す学生43名が同園を訪問。お互いに手遊び・歌を披露したり、日本語と韓国語で話しかけたり、子ども達と楽しいひとときを過ごしました。引率の先生は、「とても感動しました。帰るのが寂しい」と名残惜しように、次の目的地に向かいました。その後、同園の子ども達の間で「アンニョンハセヨ」が流行ったそうです。